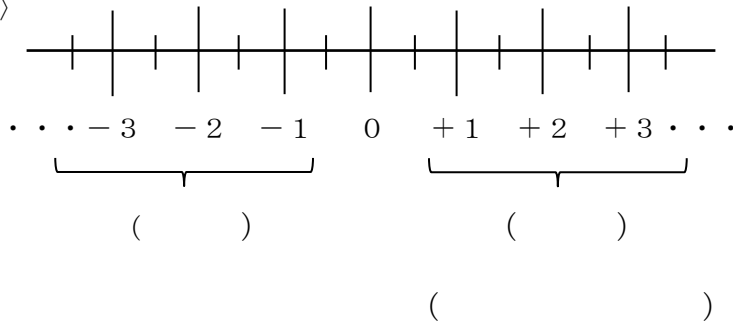


正の数・負の数

【数の種類】

〈数直線〉



- ・ () = -0.5 など
- ・ () = $\frac{1}{3}$ など
- ・ () = 0, +1, -1 など

【符号】

正の符号 = ()

負の符号 = ()

※符号を逆にすることを「符号を変える」という

【絶対値】

() = 0からの距離, 符号をとって表す ※0の絶対値は ()

-8の絶対値 = () 絶対値が0.3になる数 = () と () ※2つある

【数の大小】

不等号 (<, >) を使って表す

- ・ 2つの数を比べる時 = 大きい数を食べる

-2 () 3

- ・ 3つ以上の数を比べる時 = 小さい順に並べてから $-\frac{3}{2}$, +4, -2 は?

() < () < ()

【符号を変えて表す】

2 cm短い = -2 cm ()

※数字と言葉に分ける, 数字の符号を変えたら言葉の意味も逆にする